

Injury Alert (傷害速報)類似事例

金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による急性ニコチン中毒・消化管内異物 (No.121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物 6)

事例	基本情報	年齢：0 歳 10 か月 性別：男児 体重：10.1kg 身長：77cm
	家族構成	父、母、本児
	発達・既往歴	つかまり立ちができる様になった。伝い歩きはできない。
臨床診断名		タバコ誤飲、急性ニコチン中毒、消化管内異物
医 療 費		外来 20,170 円
原因対象	対象名称	加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック
	入手経路 使用状況	父の購入品、使用済のもの
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	普段は、本児の手が届かない棚の上に保管している。出勤前に父が吸い終わった後、タバコスティックをセットしたままの加熱式タバコカートリッジを、たまたま、ソファの背に置き忘れていた。
	発生年月日	2022 年 6 月 X 日 (火) 午前 6 時 30 分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	朝、本児は居間で過ごし、父は出勤前の支度をしており、母はキッチンで洗い物をしていた。午前 6 時 45 分頃、本児が嘔吐しているところを両親に発見された。顔や床に茶色吐物が大量に付着していた。カートリッジにセットされていた吸い終わったタバコスティックのうち半分位の長さが床に落ちていた。タバコスティック約 1/2 本を摂取したと考えられた。嘔吐が続くため、自家用車により午前 8 時に救急外来受診した。
医療機関受診時以降の治療経過 転帰		受診時は、嘔吐は落ち着き、バイタルの異常も認められなかった。胃洗浄の適応はないと判断され、処置は行われなかった。タバコスティックには金属片が内蔵されていることが分かっていたため胸腹部 X 線検査が行われた。検査で胃内に 13×3.5mm 大の X 線非透過性異物が確認されたが、入院はせずに経過観察となった。金属片は、X+1 日に自然に排泄された。明らかな合併症は認められなかった。
キーワード		加熱式タバコ、異物誤飲(金属片)、消化管内異物、急性ニコチン中毒



図. 胸腹部 X 線写真
胃内に金属片と考えられる異物(↑)を認める。